

## 菅改造内閣の発足について

問責決議への対応と、税財政と社会保障の一体改革やTPPへの参加などの政策を推進するための内閣改造と受け止めている。当面の国会運営への対応は必要だが、新しい内閣は将来の国家像を明確に打ち出すことが重要である。

平成23年度予算の早期成立と新成長戦略の遂行はもちろんのこと、日本の将来を左右する政策課題にスピード感をもって対応することを国民は切望している。

そのためにも民主党内の合意形成が先決である。そのことが国民への説得力を増すことにつながり、野党との建設的な政策議論や政策連携にもつながる。

菅首相をはじめ新内閣には京都経済4団体の年頭挨拶で私が申し上げた「<sup>だいてんこうず</sup>大展宏図」の言葉を贈りたい。これからのグローバル社会で日本が成長するビジョンを描き、施策を展開する気概を求めたい。

以 上

平成23年1月14日  
京都商工会議所  
会頭 立石 義雄